

# 道徳科学習指導案

1年1組 30名  
指導者 岩城 廣和

1 主題名 節度を守る (内容項目 A-2 節度、節制)

2 教材名 釣りざおの思い出 (出典: 廣濟堂あかつき「中学生の道徳 自分を見つめる 1」)

3 ねらい

釣りに夢中になるあまり約束の時間を破ってしまい、母に釣りざおを折られた「私」の心の動きについて考えることを通して、衝動に流されることなく、自制することの大切さに気付き、節度を守り節制に心がけようとする道徳的実践意欲を培う。

4 本時の展開

学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応) <small>主な発問 (○) 中心発問 (◎) 予想される生徒の反応 (・)</small>	指導上の手立てと評価 (◆評価の視点)
<p>1. これまでの経験を想起する。 ○ 普段の生活の中でつい夢中になってしまった経験はありませんか。 ・スマホを使っていると時間が過ぎていく。 ・友達と話をしていると休み時間がすぐ終わる。 (3)</p> <p>2. 教材「釣りざおの思い出」を読んで話し合う。 「釣りざおの思い出」を読み、あらすじを確認する。(5) ○ 約束の時間を過ぎてしまうことに気付いたにも関わらず、「私」が釣りを止めなかったのはなぜだろう。 ・憧れの釣りざおを手に入れたし、もっと釣りたい。 ・大漁になれば、お母さんも喜んでくれると思った。 ・時間に遅れたから今さら慌てても仕方がない。 ・もう少しくらいならいいだろう。 (6)</p> <p>◎ 母に釣りざおを折られて、「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ・早く帰ってくればよかった。 ・あのときに止めておけばよかった。 ・夢中になって約束を破ってはいけなかった。 ・お母さんを悲しませてしまった。 ・自分の欲望に負けてしまっていた。 ・取り返しのつかないことをしてしまった。 (20)</p> <p>○ 母親は「わたし」にどんなことに気付いてほしくて釣りざおを折ったのだろう。 ・自分の気持ちに負けて、欲望をとるような人にはなっていない。 ・今の自分にとって大切なものは何かを感じられる人であってほしい。 ・釣りざおよりも大事なことに気付いてほしい。 ・この失敗をこれからに生かしてほしい。 (6)</p> <p>3. 本時の授業を振り返って、感じたことや考えたことを書く。 (10)</p>	<p>・簡単に価値の意識付けを図り、教材に入る。</p> <p>・教師が問い返しを行うことで、表面的な「私」の言動は、自分自身の行動を許容するための言い訳になってしまっていることに気付くことができるようにする。 【問い返し発問例】 ・「私」は本当に心から「大漁であれば母から許される」と考えていたのだろうか。</p> <p>・「私」の後悔と反省の念を捉えさせることを通して、節度を守ることに大切さに気付くことができるようにする。 【問い返し発問例】 ・「取り返しのつかないこと」ってどのようなことがあるか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆母親に釣りざおを折られた「私」の心情について、様々な視点から考えている。 (発言)</p> </div> <p>・生徒の発言から本時のねらいに関するキーワードを取り上げ、それについて問い返すことにより、衝動に負けず、節度を守ることに大切さについて考えることができるようにする。 【問い返し発問例】 ・「大切なもの」っていうのは何のことか。 ・どのように生活したら「わたし」はこの失敗を生かすことができるだろう。</p> <p>・話し合ったことを個で振り返ることにより、本時のそれぞれの道徳的価値がどれほど深まったかを確認する。</p>